

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。※デモ表示中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。



●デモ表示の解除

④ボタン以外のいずれかのボタンを押します。

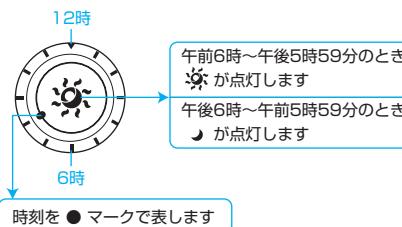
●デモ表示の設定

時刻モードのとき、④ボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

タイムグラフについて

時刻モードでは、ワールドタイムモードで選んでいる都市の時刻をグラフで表示します。ワールドタイムモードでは、時刻モードでセットしている都市の時刻（基本時刻）をグラフで表示します。

＜タイムグラフの見方＞



時刻を ●マークで表します

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、④ボタンを押すと文字板が約2秒間発光します。

→暗いところでも、表示を見ることができます。

※時刻モードのときは、ライト点灯に合わせてアニメを表示します。



アニメ表示

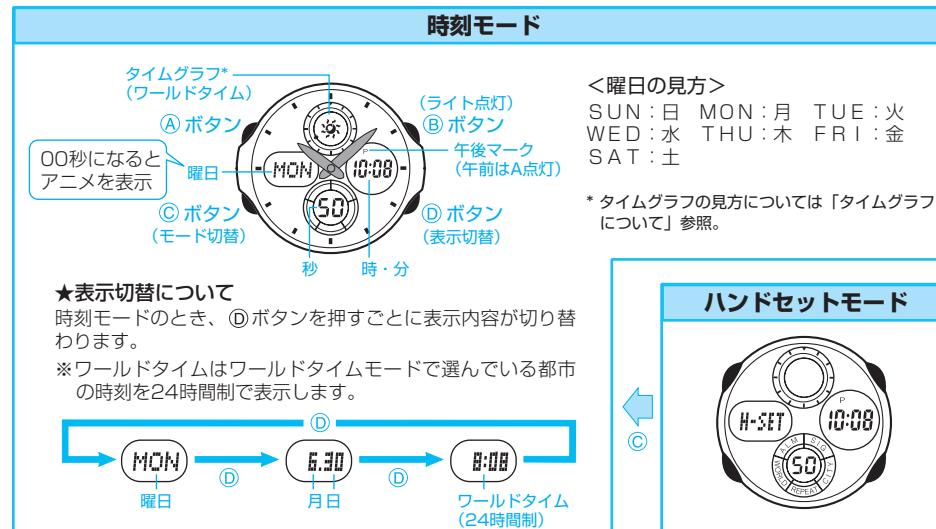
■ご注意■

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

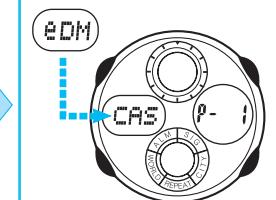
操作のしくみと表示の見方（表示例では、アナログ（針）部を省略する場合があります。）

④ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

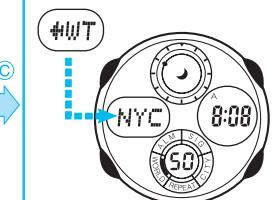
※e-DATA MEMORYモード、シティ気温データモード、アラームモードのまま2~3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。



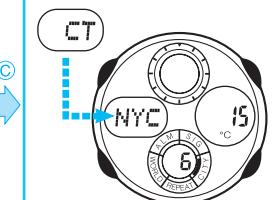
e-DATA MEMORYモード



ワールドタイムモード



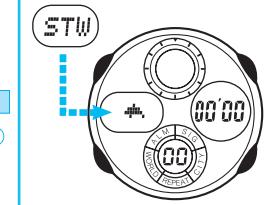
シティ気温データモード



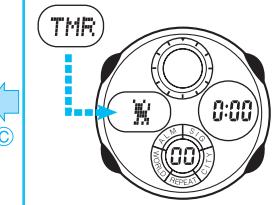
＊表示切替について
時刻モードのとき、④ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。
※ワールドタイムはワールドタイムモードで選んでいる都市の時刻を24時間制で表示します。



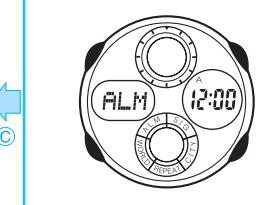
ストップウォッチモード



タイマーモード



アラームモード



ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界30都市(27タイムゾーン)の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

*「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

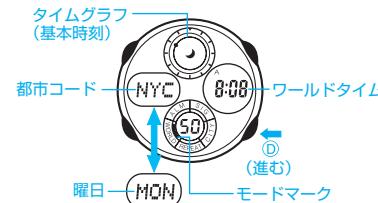
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

④ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、④ボタンを押します

- ④ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。
- ※押し続けると早送りします。
- ※「都市コード」と「曜日」は交互に表示されます。
- ※ワールドタイムモードでは、時刻モードで設定している都市の時刻(基本時刻)をグラフで表示します。



アラーム・時報の使い方

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると20秒間電子音が鳴ります。

また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

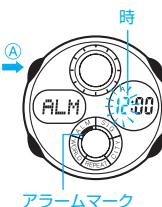
■アラーム時刻のセット

(1)セット状態にする

アラームモードのとき、
④ボタンを約2秒間押します

→「時」が点滅します。

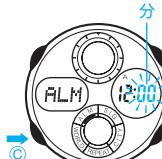
※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



(2)セット箇所を選ぶ

④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇒「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



④ボタンを押して、アラームモードにします。

(3)点滅箇所のセット

④または④ボタンを押します

- ④ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すごとに戻ります。
- ※④・④ボタンとも、押し続けると早送りします。

(2)～(3)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前(A)／午後(P)、または24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4)セットを終わる

④ボタンを押します

- 点滅が止まり、セット完了です。
- ※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON/OFF設定

準備: ワールドタイムモードのとき、④ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

④ボタンを約2秒間押します

→④ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON/OFFが切り替わります。

※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。

※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	-11	パゴバゴ	THR	+3.5	テヘラン
HNL	-10	ホノルル	DXB	+4	ドバイ
ANC	-9	アンカレジ	KBL	+4.5	カブール
LAX	-8	ロサンゼルス	KHI	+5	カラチ
DEN	-7	デンバー	DEL	+5.5	デリー
CHI	-6	シカゴ	DAC	+6	ダッカ
NYC	-5	ニューヨーク	RGN	+6.5	ヤンゴン
CCS	-4	カラカス	BKK	+7	バンコク
RIO	-3	リオデジャネイロ	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
BER	+1	ベルリン	ADL	+9.5	アデレード
CAI	+2	カイロ	SYD	+10	シドニー
JRS	+2	エルサレム	NOU	+11	ヌーメア
JED	+3	ジェッダ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2002年12月現在作成のものです。

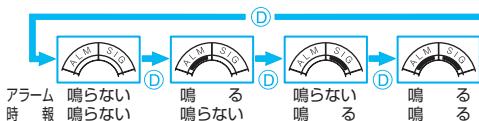
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

■アラーム・時報のON/OFF設定

アラームモードのとき、④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。

※それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



■鳴っている電子音を止めるには
いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、④ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

時刻・カレンダーの合わせ方

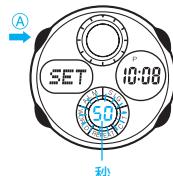
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。
※デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

→「秒」が点滅します。



(2) 秒合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓑボタンを押します

→「00秒」からスタートします。
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



アナログ部（針）の合わせ方

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備：Ⓒボタンを押して、ハンドセットモードにします。

(1) セット状態にする

ハンドセットモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

→表示が点滅します。



(2) アナログ部を合わせる

Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進みますので、アナログ針を合わせます。

※押し続けると早く進みます（針は逆方向には進みません）。



以下の操作は時刻モードで行ないます。

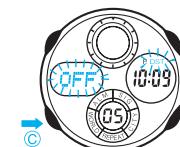
(3) サマータイム（DST）のON／OFFを選択

Ⓒボタンを押してから、Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとにON／OFFが切り替わります。
※サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します。

※OFF = サマータイム OFF（通常時間）
ON = サマータイム ON（夏時間）

* サマータイム（DST）については「■サマータイム（DST）について」参照。



(4) ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒボタンを押してから、ⒷまたはⒷボタンを押します

→ⒷまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。（■都市コード一覧 参照）

※Ⓑ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。



★針の自動早送り

Ⓓボタンを押し続けて早送り中にⒷボタンを押すと、Ⓑボタンを離しても針が進み続けます。

※自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

(3) セットを終わる

Ⓐボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

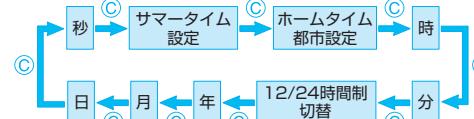
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※操作のタイミングにより、針が少し遅れことがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。

(5) 「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. ⒷまたはⒷボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24時間制切替は、Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）が切り替わります。

※「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(6) セットを終わる

Ⓐボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。